

## 四つのエーテルと形成力の理解をもって子供を内側から育てる

子供たちは、それぞれの使命を抱いて、光の世界から私たちのもとへと送られてきました。

真の教育は、彼らが地上の「闇」の中で、内側の「光」を失うことなく育ち、人として世の中に「光」を放つ存在になる道を与えます。世の中の「闇」がますます強まっていく中、私たちが、未来を担う彼らにしてあげられることを、人智学の視点から一緒に考えていきましょう。

今回は、人智学の中でもあまり語られることのない、「四つのエーテル」（熱エーテル、光エーテル、音・数学・化学エーテル、生命エーテル）と、子供が宇宙から受けついできた「形成力」を視野に入れて、子供を内側から導く教育を提案します。

金曜日の講義では、人が地上に降りてくる意味と目的について、考えていきます。「人智学は初めて」という方にも、分かりやすい内容になっていますので、ご経験に関わらず、どなたでもお気軽にご参加いただけます。

土・日のワークショップでは、金曜日の講義内容を基本として、「真の教育」の意味を実践を交えて掘り下げていきます。

それでは、皆様にお目にかかれますことを心から楽しみにしています。

### 八月十一日（金曜日）

3:00 - 4:00 自己紹介とはじめましてゲーム

4:00 - 6:00

人智学から見た人のしくみ（三層、四層、七層、九層説）と人の成長と使命（キリスト衝動とは）

### 八月十二日（土曜日）

9:00 - 10:00 自己紹介と前日を振り返って

10:00 - 10:15 休憩

10:15 - 12:15 真の教育の必要性と目的（思考、感情、意志の統合が人を人にする）  
四つのエーテルと真の教育のしくみ（大人が子供に対してできること）

12:30 - 1:30 昼食

1:30 - 3:30 授業の「熱」が上がる、動きのあるアクティビティ体験

3:30 - 4:00 休憩

4:00 - 5:30 頭部・躯体・肢体と思考・感情・意志。人の四層体がつくる八の字

八月十三日（日曜日）

9:00 - 10:00 二日間を振り返って

10:00 - 10:15 休 憩

10:15 - 12:15

形成力とアストラル体（絵画、数学、幾何、手仕事、外国語、音楽、オイリュトミーの役割）

12:15 - 1:15 昼 食

1:15 - 3:15 「熱」の上がる、動きのあるアクティビティを皆で持ち寄る

3:15 - 3:45 休 憩

3:45 - 5:30 三日間を振り返って、質疑応答

内山千晶プロフィール

1997年に渡米後二人の娘をワルドルフ学校に通わせながら、人智学、星智学、オイリュトミーを学び始める。1999年からオレゴン州ポートランドのシダーウッドワルドルフスクールで日本語を教え、今年で18年になる。同校では、2003年からリーダーシップや理事として学校運営に関わり、2007年から2013年までカレッジオブティーチャーズの長を務める。その後はプログラムチェアとして、幼稚園から八年生まで、すべてのプログラムの成長を促し、シダーウッドのミッションと人智学の本質に基づくものへと導いている。2010年からは毎年日本語教師のための研修を主催し、北米ワルドルフ学校での日本語プログラムの強化、成長を応援する。人智学協会、精神科学大学の教育学部門会員、空間ダイナミックトレーニング（レベル1）終了。また、パートナーのチャールズと、星智学のセッションを行う。